

高齢者の生活・介護等に関する県民調査 調査票

ご協力をお願い

日頃より、奈良県政へのご協力をいただき、ありがとうございます。

このたび、奈良県におきまして、県民の高齢期の生活、介護等に関する意識や実態を正確に把握し、県の高齢者福祉施策に反映させるための調査を実施します。調査の結果は、県高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業支援計画の策定や高齢者が住み慣れた自宅で安心して暮らし続けるためのしくみである「地域包括ケアシステム」の実現など、今後の高齢者福祉行政を展開する上での基礎資料として活用させていただきます。

ご回答は無記名でお願いいたします。ご回答いただきました内容は、この調査のみに使用します。個人情報に他へ漏れるなど、ご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、同封の返信用封筒にて令和4年9月30日（金）までに切手を貼らずにご返送ください。アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

奈良県 福祉医療部 医療・介護保険局 介護保険課長

介護サービス従事者用調査票 ご回答に当たってのお願い

1. 令和4年9月1日現在の状況についてご回答ください。
2. 回答方法は、あてはまる選択肢に○印をつけたり、回答欄に数字をご記入いただいたりするものです。選択肢「その他」を選ばれた場合は、() 内に具体的な内容をご記入ください。
3. 設問によっては、○印をつける個数や回答していただく方が限られるものがありますので、設問の指示に従ってご回答願います。
4. 地域包括ケアの推進体制に係る設問は、あなたがサービス提供等に従事される中で感じられたり、考えられたりしている内容でお答えください。
5. ご回答が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手はいりません）をご利用いただき、令和4年9月30日（金）までにお近くの郵便ポストに投函してください。
6. この調査は「無記名方式」ですので、調査票や返信用封筒にあなたのお名前やお勤めの事業所名、ご住所は記入されないようお願いいたします。

【調査に関するお問合せ先】

奈良県福祉医療部医療・介護保険局
介護保険課介護計画係
〒630-8501 奈良市登大路町30番地
電話 0742-27-8524

1. 現在の仕事の状況についておたずねします。

問1 所属している事業所の運営主体はどれですか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|-------------|---------------------|
| 1 社会福祉法人 | 2 医療法人 | 3 営利法人(株式会社、有限会社など) |
| 4 NPO法人 | 5 その他の法人() | |

問2 あなたが従事している事業所が提供しているサービスの種別は何ですか。2~13、16~18については、予防サービスを含みます。(○はいくつでも)

- | | | |
|-------------------------|---------------------|------------------|
| 1 居宅介護支援 | 2 訪問介護 | 3 訪問入浴介護 |
| 4 訪問看護 | 5 訪問リハビリテーション | 6 居宅療養管理指導 |
| 7 通所介護 | 8 通所リハビリテーション | 9 短期入所生活介護 |
| 10 短期入所療養介護 | 11 特定施設入居者生活介護 | 12 福祉用具貸与 |
| 13 特定福祉用具販売 | 14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | |
| 15 夜間対応型訪問介護 | 16 認知症対応型通所介護 | 17 小規模多機能型居宅介護 |
| 18 認知症対応型共同生活介護 | 19 地域密着型特定施設入居者生活介護 | |
| 20 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | | 21 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 22 地域密着型通所介護 | 23 介護老人福祉施設 | 24 介護老人保健施設 |
| 25 介護療養型医療施設 | 26 介護医療院 | |

問3 あなたは、現在の事業所に勤めてから何年ですか。人事異動等による事業所内での異動は考慮しません。(○は1つ)

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1 6か月未満 | 2 6か月以上1年未満 | 3 1年以上3年未満 |
| 4 3年以上5年未満 | 5 5年以上10年未満 | 6 10年以上 |

問4 あなたは、介護サービス事業所へのお勤めは、現在の事業所で何か所目ですか。()内に記入してください。人事異動等による事業所内での異動は考慮しません。

() 所目

問5 あなたが今の事業所で従事している職種はどれですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------|-----------|--------|
| 1 管理者 | 2 相談員 | 3 看護職員 |
| 4 介護職員 | 5 機能訓練指導員 | 6 事務職 |
| 7 その他() | | |

問6 あなたが介護の仕事に関係して持っている資格はどれですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1 介護支援専門員 | 2 介護福祉士 | 3 介護福祉士実務者研修 |
| 4 社会福祉士 | 5 保健師 | 6 看護師 |
| 7 准看護師 | 8 介護職員基礎研修 | 9 ヘルパー1級 |
| 10 ヘルパー2級 | 11 介護職員初任者研修 | 12 理学療法士 |
| 13 作業療法士 | 14 言語聴覚士 | 15 管理栄養士 |
| 16 薬剤師 | 17 その他() | 18 資格は持っていない |

問7 あなたの現在の雇用形態はどれですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 正社員・正職員 | |
| 2 非正規雇用(常勤) | → 問8へお進みください |
| 3 非正規雇用(非常勤) | |
| 4 その他() | |

問7で選択肢「2」または「3」とお答えの方にお聞きします。

問8 あなたは、正社員・正職員としての勤務を希望しますか。(どちらかに○)

1 希望する	2 希望しない
--------	---------

問9 あなたの1週間の平均勤務時間はどのくらいですか。ご記入ください。(時間外勤務を含む)

週 平均 () 時間

問10 あなたは夜間勤務(22時～翌5時)を行っていますか。(どちらかに○) また、「1 夜間勤務あり」と回答された方は、月に何回程度かご記入ください。

1 夜間勤務あり → 月 () 回程度
2 夜間勤務なし

2. 介護の仕事への就労についておたずねします。

問11 あなたが介護の仕事をはじめてからの経験年数はどのくらいですか。(○は1つ)

1 6か月未満	2 6か月以上1年未満	3 1年以上3年未満
4 3年以上5年未満	5 5年以上10年未満	6 10年以上

問12 あなたが介護の仕事を選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 高齢者の介護や福祉の仕事に関心があったから 2 社会や人のために役に立てる仕事だと思ったから 3 自分の能力や経験、資格などを活かすことができるから 4 介護の知識や技能を身につけたかったから 5 家族や知人、学校の先生などに勧められたから 6 職場が自宅から近いから 7 給与や勤務条件(勤務時間や勤務日数)の待遇がよかったから 8 資格や経験、年齢を問われなかったから 9 他に仕事がなかったから 10 その他 ()
--

問13 あなたは、奈良県福祉・介護事業所認証制度について、ご存じですか。(どちらかに○)

1 はい	2 いいえ
------	-------

問14 あなたは、現在の仕事や職場に満足していますか。(以下のA～Eそれぞれについて、○は1～5のいずれか1つ)

	1 非常に満足	2 満足	3 普通	4 やや不満	5 非常に不満
A 収入	1	2	3	4	5
B 労働時間	1	2	3	4	5
C 福利厚生	1	2	3	4	5
D 仕事の内容	1	2	3	4	5
E 職場の人間関係	1	2	3	4	5

3. 職場の環境についておたずねします。

問15 職場環境について教えてください。(以下のA～Pのそれぞれについて、○は1～4のいずれか1つ)

		1 あてはまる	2 どちらかという あてはまる	3 どちらかという あてはまらない	4 あてはまらない
労務管理・ 職場環境	A 仕事と育児などの生活との調和等、個人の事情に配慮した支援が行われている	1	2	3	4
	B 業務内容や量に対応できる適切な人員が確保されている	1	2	3	4
	C 勤務時間や仕事の内容で過重な負担を強くないようにされている	1	2	3	4
	D 有給休暇の取得推進や福利厚生面の整備など、労働環境の整備・改善が行われている	1	2	3	4
	E 先進技術（介護ロボットやICT機器など）の導入による労働環境の改善がなされている				
	F 職員一人ひとりの心身の健康に配慮がなされている	1	2	3	4
評価・報酬	G 仕事の役割や責任の範囲、必要な能力等が明確に示されている	1	2	3	4
	H 一人ひとりの果たすべき役割や目標について話し合いが行われている	1	2	3	4
	I 仕事ぶりや能力について評価し、面談によるフィードバックが行われている	1	2	3	4
	J 仕事ぶりや能力について評価し、何らかの処遇改善（賞与、一時金、報奨金、賃金改定等）につなげられている	1	2	3	4
	K 賃金の決め方・上げ方をルール化し、明確に示されている	1	2	3	4
人材育成	L 職員のスキルアップのための研修方針があり研修が行われている	1	2	3	4
	M 外部の講習会や資格取得等のための支援があり、職員のスキルアップが行われている	1	2	3	4
	N 新人に対する教育（OJTや新人研修等）が体系的に行われている	1	2	3	4
	O 管理職層やリーダー層育成のための教育に力が入れている	1	2	3	4
	P 将来のキャリアについて、支援（相談、研修等）やアドバイスが行われている	1	2	3	4

4. 介護の仕事に対する不安や負担感についておたずねします。

問16 あなたは、介護の仕事をするうえで悩みや不安、負担感などを感じますか。(○は主なもの5つまで)

《勤務環境や待遇に関すること》

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 仕事内容のわりに給与が少ない | 2 社会保険や福利厚生などの制度が不十分 |
| 3 労働時間が長い | 4 労働時間が不規則である |
| 5 早朝、夜間勤務がある | 6 有給休暇がとりにくい |

《将来性に関すること》

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 7 雇用が不安定である | 8 正社員、正職員になれない |
| 9 自分の資格や能力が評価されない | 10 昇進などのキャリアアップが望めない |
| 11 自分の能力を伸ばす時間がとれない | 12 仕事の内容に展望がもてない |
| 13 介護の仕事の内容などについて、一般の人に十分理解されていない | |

《精神的・身体的な負担に関すること》

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 14 責任が重すぎる | 15 職員同士の人間関係がうまくいかない |
| 16 介護の知識や技能について未熟な職員が多い | 17 利用者の家族との対応がうまくいかない |
| 18 利用者とのコミュニケーションがうまくいかない | 19 仕事がきつく体力的な負担が大きい |
| 20 仕事と家庭の両立が難しい | |

《仕事の内容に関すること》

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 21 仕事にやりがいがない | 22 IT化が遅れている・手書きの書類が多い |
| 23 パソコンを使う作業が難しい | 24 資格や雇用契約に基づく内容以外の仕事をさせられる |

《その他》

- 25 その他 ()
- 26 特にない

問17 あなたが家族や友人・知人以外で、介護の仕事に関する悩みや不安を相談する相手は誰ですか。

(○は主なもの3つまで)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 職場の同僚 | 2 職場の上司、管理職 |
| 3 他の事業所の福祉職の知り合い | 4 事業所が設置している相談窓口 |
| 5 労働組合や団体など | 6 行政、地域包括支援センターの窓口など |
| 7 その他 () | 8 どこに・誰に相談してよいかわからない |
| 9 相談しない | |

問18 あなたは、介護の仕事は今後も続けていきたいと思えますか。(○は1つ)

- | |
|-------------------|
| 1 今の職場で続けたい |
| 2 続けたいが、別の職場で続けたい |
| 3 続けたいが、続けるのは難しい |
| 4 続けたくない |

問18で選択肢「3」または「4」とお答えの方にお聞きします。

問19 あなたが介護の仕事続けるのが難しい、または続けたくないと思っている最大の理由は何ですか。

(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1 他にやりたい仕事があるため | 2 仕事の内容に不安や不満があるため |
| 3 身体的な理由で続けるのが難しい、または続けたくないため | 4 精神的な理由で続けるのが難しい、または続けたくないため |
| 5 金銭的な理由で続けるのが難しい、または続けたくないため | 6 キャリアアップが望めないため |
| 7 一生続けられる仕事か不安があるため | 8 家庭の事情(子育てや介護)などで続けるのが難しいため |
| 9 その他 () | |

問20 介護サービス従事者をとりまく環境をよりよくするために、あなたが必要だと思うことは何ですか。職場の状況に関わらず、業界全体を通してお考えください。(○はいくつでも)

- 1 知識や技能習得のための研修の充実
- 2 研修参加や資格取得のための金銭的な支援
- 3 研修参加や資格取得のための時間的な支援
- 4 専門職同士での交流機会の確保
- 5 給与や休暇などの待遇面での改善
- 6 定期的な健康診断や感染症予防対策の実施
- 7 身体的な負担軽減のための、設備や用具の積極的な導入
- 8 精神的な負担軽減のための、カウンセリングなどの積極的な導入
- 9 介護の仕事の内容などについての一般の人の理解の促進
- 10 その他 ()

問20で選択肢「1」とお答えの方にお聞きします。

問21 あなたは今後、どのような研修を受けたいですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 1 基本的介護技術に関する研修 | 2 口腔機能に関する研修 |
| 3 喀痰吸引等に関する研修 | 4 緊急時対応・事故対策に関する研修 |
| 5 認知症ケア・認知症対策に関する研修 | 6 災害・感染症対策に関する研修 |
| 7 高齢者虐待防止・身体拘束廃止に関する研修 | 8 リハビリテーション(運動機能向上・維持など)に関する研修 |
| 9 介護予防に関する研修 | 10 ケアプラン等に関する研修 |
| 11 介護従事者の腰痛予防に関する研修 | 12 ストレスマネジメントに関する研修 |
| 13 介護員養成研修(介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修) | |
| 14 事業所や地域のネットワークに関する研修 | 15 個人情報・プライバシーに関する研修 |
| 16 介護保険制度に関する研修 | 17 介護報酬・指定基準に関する研修 |
| 18 終末期に関する研修 | |
| 19 その他 () | |
| 20 特になし | |

問22 あなたが従事する事業所は、外国人労働者を受け入れていますか。(どちらかに○)

- 1 すでに受け入れている
- 2 受け入っていない

問22で選択肢「1」とお答えの方にお聞きします。

問23 外国人労働者を受け入れた結果、課題となっていることは何ですか。(○は主なもの1つ)

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1 受入れに対する職員の理解が進まない | 2 受入れに対する利用者やその家族の理解が進まない |
| 3 文化や習慣の違いを理解するのが難しい | 4 コミュニケーションを図るのが難しい |
| 5 生活支援が大変である | 6 定着率が低い |
| 7 特に課題はない | 8 その他 () |

問22で選択肢「2」とお答えの方にお聞きします。

問24 あなたは、介護人材不足を解決するための外国人労働者の受入について、どのように思いますか。(○は1つ)

- 1 進めるべきである
- 2 どちらでもない
- 3 進めるべきでない
- 4 わからない

問25へお進みください

問24で選択肢「3」とお答えの方にお聞きします。

問25 なぜ、そのようにお考えですか。(○は主なもの1つ)

- 1 受入れに対する職員の理解が進まないと思うから
- 2 受入れに対する利用者やその家族の理解が進まないと思うから
- 3 文化や習慣の違いを理解するのが難しいと思うから
- 4 コミュニケーションを図るのが難しいと思うから
- 5 生活支援が大変であると思うから
- 6 定着率が低いと思うから
- 7 その他 ()

問26 あなたが従事する事業所は、介護の現場に先進技術を用いた機械(介護ロボット、ICT機器)等を導入されていますか。(どちらかに○)(○は1つ)

- 1 すでに導入している
- 2 導入されていない

問26で選択肢「1」とお答えの方にお聞きします。

問27 導入した結果、課題となっていることは何ですか。(○は主なもの1つ)

- 1 操作方法が難しく、実用的でない
- 2 利用者やその家族の理解が得られない
- 3 業務軽減に結びついていない
- 4 ケアの質が下がった
- 5 特に課題はない
- 6 その他 ()

問26で選択肢「2」とお答えの方にお聞きします。

問28 あなたは、介護の現場に先進技術を用いた機械(介護ロボット、ICT機器)等の導入を進めることについて、どのようにお考えですか。(○は1つ)

- 1 進めるべきである
- 2 どちらかといえば進めるべきである
- 3 どちらかといえば進めるべきでない
- 4 進めるべきでない

問28で選択肢「3」または「4」とお答えの方にお聞きします。

問29 なぜ、そのようにお考えですか。(○は1つ)

- 1 操作方法が難しそうだから
- 2 利用者やその家族の理解が得られないと思うから
- 3 導入費や維持費が高そうだから
- 4 業務軽減に結びつかないと思うから
- 5 ケアの質が下がると思うから
- 6 その他 ()

5. 関係機関との連携状況についておたずねします。

問30 サービス利用者の情報について、次にあげる関係機関、職種との連携はどの程度重要と考えていますか。また、現在の連携はどのような状況ですか。

(以下の①～⑪それぞれについて、○は1～4のいずれか1つ)

	連 携 の 重 要 度				連 携 状 況			
	重要である	重要で どちらかといえ ば	重要で ない どちらかといえ ば	重要ではない	よく とれている	ある程度 とれている	あまり とれていない	ほとんど とれていない
①主治医・かかりつけ医	1	2	3	4	1	2	3	4
②歯科医師	1	2	3	4	1	2	3	4
③薬剤師	1	2	3	4	1	2	3	4
④理学療法士等のリハビリ職	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤医療ソーシャルワーカー	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥地域包括支援センター	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦他の居宅介護支援事業所等	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧介護保険外サービス事業者	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨市町村の介護保険担当者等	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩民生委員、福祉協力員など	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪社会福祉協議会	1	2	3	4	1	2	3	4

問31 介護従事者と医療関係者等が多職種連携を進める上で、どのようなことについて課題があるとお考えですか。(○は主なもの1つ)

1 具体的な連携方法が分からない	2 異職種間での意思疎通が難しい
3 連携するためのツール（ICTを活用したシステム等）がない	4 所属している組織の理解が得られない
5 その他（	）

問32 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組状況についてお答えください。(○は1つ)

※ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは、医療従事者から適切な情報提供と説明がなされたうえで、人生の最終段階の医療やケアについて、本人が家族や医療・介護従事者等信頼できる周囲の関係者と事前に繰り返し話し合うプロセスのことをいいます。

1 実践している
2 実践したことがない（実践する機会がない場合も含む）
3 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
4 知らない・聞いたことがない

問32で選択肢「1」と回答した方にお聞きします。

問33 ACPを実践する上で課題となっていることは何ですか。(○は主なものを1つ)

1 本人や家族の意向の把握	2 家族へのケア・フォロー
3 関係する他施設との連携（情報の共有等）	4 具体的な方法（マニュアル等）の整備
5 その他（	） 6 特にない

問34 ACPを実践するために、どんなツールが活用できると思いますか。(○は主なものを1つ)

1 パンフレット	2 書き込み式エンディングノート	3 取組に係る講習会
4 具体的な参考事例集	5 その他（	） 6 特にない

6. 地域包括ケアの推進体制についておたずねします。

問35 あなたは、「地域包括ケアシステム」について知っていますか。(○は1つ)

※地域包括ケアシステムとは、介護や支援が必要になっても、高齢者が尊厳を保ちながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援が、日常生活の場で一体的に提供できる地域での体制のことをいいます。

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1 知っており、実現に向けてできることは協力したい | 2 知っている |
| 3 言葉は聞いたことはあるが詳しくはわからない | 4 知らない・聞いたことがない |
| 5 その他 () | |

問36 利用者の主治医・かかりつけ医との連携や情報交換を行っていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1 連携し利用者の医療情報を把握するようにしている | 2 必要に応じて問い合わせをしている |
| 3 連携の必要性を感じているが、できていない | 4 とりたてて連携の必要性を感じない |
| 5 その他 () | |

問37 利用者が入院した際に、在宅や施設での状況を入院先に情報提供していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 文書で情報を提供している | 2 電話等のやりとりで情報を提供している |
| 3 カンファレンス等に参加し情報を提供している | 4 情報提供していない |
| 5 その他 () | |

問38 利用者が一時的に入院した際、もしくは退院直後の場合、病院から入院中の本人の状況の情供を受けていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1 文書で情報提供を受けている | 2 電話等のやりとりで情報提供を受けている |
| 3 カンファレンス等に参加し情報提供を受けている | 4 情報提供を受けてない |
| 5 その他 () | |

問39 かかりつけ医など医療機関から提供を受けたい情報は何か。(○は主なもの3つまで)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 利用者の障害、慢性疾患など健康に関する情報 | 2 利用者の服薬に関する情報 |
| 3 利用者の疾患のケアに関する情報 | 4 利用者やその家族が伝えている支援ニーズに関する情報 |
| 5 医療費の支払状況など、利用者の経済状態に関する情報 | |
| 6 その他 () | 7 特になし |

問40 利用者の在宅生活を支えるために最も連携を強めたい機関・窓口はどこですか。

(○は主なもの3つまで)

- | | | |
|----------------|--------------------|---------------------|
| 1 自治体の福祉部門 | 2 地域包括支援センター | 3 居宅介護支援事業所・ケアマネジャー |
| 4 在宅介護支援センター | 5 訪問看護ステーション | 6 社会福祉協議会 |
| 7 かかりつけ医など医療機関 | 8 NPO・ボランティア等の民間機関 | |
| 9 自治会の役員 | 10 民生委員 | 11 近隣の住民 |
| 12 その他 () | | 13 特になし |

問41 地域包括支援センターにどのような機能を強化してほしいと思いますか。(○は主なもの5つまで)

- | | | |
|--------------------|------------------------|---------------|
| 1 困難事例への支援の充実 | 2 研修・指導内容の充実 | 3 介護者支援の充実 |
| 4 相談機会の増加、緊密な情報交換 | 5 情報提供の充実 | 6 関係機関の紹介 |
| 7 地域との交流機会の増加 | 8 民生委員、福祉協力員などとの連携強化 | |
| 9 介護予防活動の充実 | 10 医療と介護の連携強化に向けた支援の充実 | |
| 11 生活支援の適正利用に向けた啓発 | 12 成年後見制度の広報 | 13 認知症への支援の充実 |
| 14 生活支援の充実 | 15 その他 () | |
| 16 特になし | | |

問42 地域包括支援センターとどのような連携を取っていますか。(〇はいくつでも)

※地域ケア会議とは、行政・介護・医療関係者、民生委員、住民組織等からなる会議で、地域包括支援センターまたは市町村が主催します。地域ケア会議は、個別ケースの支援や課題解決だけでなく、個別ケースに共通する地域課題を発見し、地域づくり・社会資源の開発・施設等の充実によって地域課題を解決していくことで、高齢者への支援の土台となる社会基盤の整備（地域包括ケアシステムの実現）を図っていきます。

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 地域包括支援センターが開催する地域ケア会議に参加している |
| 2 | ケースカンファレンスに地域包括支援センター職員が参加している |
| 3 | 日常的に電話等でやりとりをしている |
| 4 | 連携していない |
| 5 | その他 () |

問43 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------------------------|---|--------------------------|
| 1 | 知らない・聞いたことがない | 2 | 詳しくは知らないが聞いたことはある |
| 3 | 後見人ができること、できないことが何かを知っている | 4 | 成年後見制度利用が必要と思われるケースが分かる |
| 5 | 成年後見制度の利用についての相談窓口を知っている | 6 | 市町村長による申立てが可能であることを知っている |
| 7 | 任意後見制度があることを知っている | 8 | 日常生活自立支援事業があることを知っている |

問44 高齢者虐待への対応策として必要と思われる制度や仕組みについてお答えください。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|-----|----------------------|-----|----------------------|
| 1. | 機関職員等向けの相談窓口の整備 | 2. | 虐待者への相談・支援の充実 |
| 3. | 緊急避難の受け入れ体制の充実 | 4. | 高齢者虐待に関する法制度の整備 |
| 5. | 高齢者を見守る地域等のネットワークの確立 | 6. | 対応者をフォローする機関の設置 |
| 7. | 虐待者の心身のリフレッシュ体制の充実 | 8. | 対応マニュアルの整備 |
| 9. | 機関相互の情報共有 | 10. | 住民に対する教育・啓発 |
| 11. | 住民向けの相談窓口の整備 | 12. | 機関職員等に対する教育・啓発の機会の充実 |
| 13. | 警察・司法機関との連携・介入 | 14. | 地域福祉権利擁護事業の充実 |
| 15. | その他 () | | |

7. あなたご自身のことについておたずねします。

問45 あなたの性別はどちらですか。(どちらかに〇)

- | | | | |
|---|----|---|----|
| 1 | 男性 | 2 | 女性 |
|---|----|---|----|

問46 あなたの年齢（満年齢）をご記入ください。(令和4年9月1日現在でお答えください)

() 歳

問47 現在の主たる勤務地はどこですか。(〇は1つ)

- | | | | | | | | | | | | |
|----|------|----|-------|----|-------|----|------|----|------|----|------|
| 1 | 奈良市 | 2 | 大和高田市 | 3 | 大和郡山市 | 4 | 天理市 | 5 | 橿原市 | 6 | 桜井市 |
| 7 | 五條市 | 8 | 御所市 | 9 | 生駒市 | 10 | 香芝市 | 11 | 葛城市 | 12 | 宇陀市 |
| 13 | 山添村 | 14 | 平群町 | 15 | 三郷町 | 16 | 斑鳩町 | 17 | 安堵町 | 18 | 川西町 |
| 19 | 三宅町 | 20 | 田原本町 | 21 | 曾爾村 | 22 | 御杖村 | 23 | 高取町 | 24 | 明日香村 |
| 25 | 上牧町 | 26 | 王寺町 | 27 | 広陵町 | 28 | 河合町 | 29 | 吉野町 | 30 | 大淀町 |
| 31 | 下市町 | 32 | 黒滝村 | 33 | 天川村 | 34 | 野迫川村 | 35 | 十津川村 | 36 | 下北山村 |
| 37 | 上北山村 | 38 | 川上村 | 39 | 東吉野村 | | | | | | |

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手はいりません）をご利用いただき、令和4年9月30日（金）までにお近くの郵便ポストに投函してください。